

時間割コード	G2B4F102	開講年度	2026				
授業題目	信州学【EA】					担当教員	高野 嘉寿彦
英文授業名	Find out more about Shinshu						小山 茂喜
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	全
講義室				授業形態	e-Learning	遠隔授業科目	該当
備考							
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	大学D P						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力					⇔	信州が持つ風土とそこに暮らす人々の自然・文化・産業などの概要を知ることを通して、学究並びに余暇において信州と自らの関わりを深める行動がとれるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース、環境マインド実践人材養成コース、ストラテジー・デザイン人材養成コース、ライフクリエイター養成コース、ShinXiaコース(ShinXia)						
(4)授業の概要	「信州」の地域性を自然・文化・産業という視点から知ることを通して、信州に暮らす大学生自らの学究生活の充実を目指します。						
(5)授業のキーワード	地域志向、信州の地域性						
(6)授業計画	第1回 県歌「信濃の国」から見た信州の風土 第2回 信州の自然環境と人々の暮らし① 第3回 信州の自然環境と人々の暮らし② 第4回 信州の生活と文化① 第5回 信州の生活と文化② 第6回 信州の歴史 第7回 信州の産業と人々の暮らし① 第8回 信州の産業と人々の暮らし② ※第8回に授業アンケートを実施します。						
(7)成績評価の方法	各回に課すレポート(60%)とまとめのレポート(40%)によって総合的に評価します。						
(8)成績評価の基準	毎回課すレポートにおいて、地域と人々の暮らしとがどのような関連性を持っているかを、具体例を通して論ずることができることを規準（到達目標）とし、自らの生活に生かす方策を考えたり、実際に調査したりした成果を内容に盛り込むことができた場合（かなり上にあるの基準）として内容の充実度によって評価します。						
(9)事前事後学習の内容	学習したことをもとに、自分の五感（読む・見る・聞く・味わう）を使って信州を探索します。						
(10)履修上の注意	本授業では、「主体的に考え、地域・社会を創造する志向」を養うことを目指します。そのため、授業を受講するにあたって必要な基礎知識を事前に学習することを前提とします。受講者は新聞・書籍・論文・インターネットなど各種メディアを使って関連する知識を収集し、整理をすることを求めます。情報の利用にあたっては出典等を確認し、妥当なものをを用いることに注意してください。引用時には出典を明らかにし、自身の考えと引用部分が明確に分かるようにしてください。						
(11)質問、相談への対応	担当者のメールアドレスは 高野 嘉寿彦 ktakano@shinshu-u.ac.jp 小山 茂喜 shigeki@shinshu-u.ac.jp です。メールは大学から付与されたアドレスを使い、必ず学籍番号と氏名を最初に書いてください。 ・授業に関する連絡事項はeALPS、メールでの連絡をいたします。 ・授業時間外に対面での相談がある場合は日時を調整して対応します。 ・電子メール等の送付の際には、要件や氏名、などそれぞれのツールに併せて、最低限のビジネスマナーやリテラシーに則った文章等で送付してください。						
(12)授業への出席	専用の動画などを視聴して設定された課題（レポート）を毎回作成し提出し、未処理の課題を先に持ち越さないよう授業に取り組んでください。						
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	授業は専用の動画などを視聴することで学習することができます。						
【教科書】	指定しない。専用の動画やプレゼンテーション、必要に応じて資料を配布します。						
【参考書】	指定しない。専用の動画やプレゼンテーション、必要に応じて資料を配布します。						